

令和4年度 学校自己評価書 (川南町立通山小学校)

評価【4…期待以上 3…ほぼ期待通り 2…やや期待を下回る 1…改善を要す

項目	評価指標 及び 具体的目標	方策・手立て	自己評価		結果の考察・分析 及び 改善策等
			項目	総合	
I 町民が生涯を通じて学び、教育に参画する社会づくりの推進					
1	家庭教育支援の充実に努める。 ①家庭教育学級の充実 ②おやじの会との連携	①内容の充実した家庭教育学級を計画し、積極的な参加を投げかける。 ②おやじの会の発足にあたり、積極的な連携に努める。	3	3	①家庭教育学級については、参加人数にバラつきが見られたが、内容は大変良かった。 ②おやじの会が発足し、運動会の準備や当日の運営、片付けなど積極的にご協力いただき大変助かった。
2	学校や家庭、地域等が一体となって取り組む教育を推進する。 ①地域の人材・素材を活用した学習や行事等の充実 ②幼・保・中との連携・交流	①学習や行事等において地域の人材・素材の積極的な活用に努める。 ②幼稚園・保育園及び中学校と情報を共有するとともに、交流活動を積極的に行う。	3	3	①コロナ感染拡大に伴って、中止した活動もあったが、予定通りに地域人材を活用することができた活動もあった。実施できた活動は大変充実したものとなった。 ②中学校との三校合同研修会を開くことができた。幼稚園と交流活動を行い、交流を深めることができた。
II 社会を生き抜く基盤を培い、未来を担う人材を育む教育の推進					
1	読書活動を推進する。 ①教科等の学習における図書室の積極的活用 ②読み聞かせボランティアとの連携	①国語科との関連を図り、参考図書の充実を図るとともに、計画的な図書室の活用を図る。 ②読み聞かせボランティア「ノバセンブラ」による読み聞かせを定期的に位置付ける。	3	3	①図書室の図書購入及び活用については、計画的に進めることができた。 ②読み聞かせボランティアについてはコロナ禍ではあったが、ほぼ計画通り実施できた。
2	確かな学力を育む教育を推進する。 ①基本的な学習態度の育成 ②教員の授業力の向上 ③ICTを活用した授業づくりの推進 ④学習の振り返りの指導の徹底	①聞く態度の指導の徹底を図る。 ②校内研修、視察訪問を活用し、授業づくりのための4つのチェックポイントをもとにした授業改善を図る。 ③デジタル教科書やICT機器活用の研修を行うとともに、積極的な活用に努める。 ④授業等における定着の見届けと業間「学びの時間」における定着指導の充実を図る。	2	2	①徐々に聞く態度が身に付いてきているが、学年によって差が大きく、十分とは言えない。 ②「4つのポイント」を意識した授業改善について研修し、授業力が少しずつ向上してきた。 ③多様な活用を模索しているところである。今後も効果的な活用について研究を進めていく必要がある。 ④今後も繰り返し、定着の見届けと定着指導の徹底を図る必要がある。
3	人権を尊重し豊かな心を育む教育を推進する。 ①心のこもったあいさつ・返事の実践 ②人権教育の常時指導の充実 ③体験活動を生かした道徳教育の推進 ④いじめ等の早期発見・解消 ⑤命を大切に教育の推進	①日本一流のあいさつ・返事を目指した取組の充実を図る。 ②望ましい人間関係の醸成を図るための視点をもとにした指導の振り返りを定期的に行う。 ③学校生活におけるボランティア活動や体験活動の充実を図るとともに、道徳の時間との関連を図る。 ④調査・教育相談をもとにいじめ等の早期発見に努め、解消に向けて組織的に対応する。 ⑤「宮崎県いのちの教育週間」を中心に、道徳、各教科の中で、命について学ぶ機会を設ける。	2	3	①委員会を中心にあいさつ運動に取り組んだり、全校朝会であいさつについて話をしたりすることで、あいさつの実践力が高まってきた。反面、来校者に対してや地域でのあいさつがまだ不十分である。今後も継続して指導していく。 ②悩みアンケートをもとに、望ましい人間関係の在り方等について指導を行ってきた。また、道徳、学級活動の時間に計画的に人権教育を行ってきた。 ③朝のボランティア活動や清掃活動、委員会活動の時間に自主的に活動に向けての意欲付けを図っていく。 ④悩みアンケートや教育相談を計画的に実施し、その結果を全職員で情報共有してきた。 ⑤外部講師による「命に関する授業」を実施した。
4	特別支援教育を推進する。 ①児童一人一人のニーズに応じた支援の充実 ②特別支援体制と関係機関との連携の充実	①児童の実態を的確に把握するとともに、保護者の要望等をもとにしながら指導方針を明確にする。 ②SSWやSC、民生委員児童委員、特別支援エリアコーディネーター等との連携を密にしながら指導の充実を図る。	3	3	①面談を通して、保護者の要望等をつかむとともに、児童の状況について、全職員で共有した。 ②SSWやSC、民生委員児童委員、特別支援エリアコーディネーター等との連携を密にし、個に応じた指導を行ってきた。
5	郷土を愛し地域社会に参画する態度を育む教育を推進する。 ①地域の人材・素材を活用した学習や行事の充実【再掲】 ②総合的な学習の時間におけるふるさと学習の充実	①学習や行事等において地域の人材・素材の積極的な活用に努める。【再掲】 ②ふるさと川南の自然、文化、産業等、そのよさを学ぶ学習を計画的に展開する。	3	3	①コロナ感染拡大に伴って、中止した活動もあったが、予定通りに地域人材を活用することができた活動もあった。実施できた活動は大変充実したものとなった。【再掲】 ②年間指導計画に基づいて学習を進めてきたが、コロナの関係で実施できなかったものもあった。
6	キャリア教育を推進する。 ①地元企業や人材等を活用した学習活動の推進 ②生き方教室の実施	①地元企業や人材等を学習活動の中で積極的に活用する。 ②地域の先輩から話を聞く機会を設定し、望ましい勤労観、職業観を養うよう努める。	3	3	①コロナ感染拡大に伴って、中止した活動もあったが、予定通りに地域人材を活用することができた活動もあった。実施できた活動は大変充実したものとなった。【再掲】 ②年間指導計画に基づいて進めてきたが、コロナの関係で実施できなかったものもあった。
7	社会の変化に対応した多様な人材を育む教育を推進する。 ①ICTを活用した授業づくりの推進【再掲】 ②対話的な学びの実践	①デジタル教科書やICT機器活用の研修を行うとともに、積極的な活用に努める。【再掲】 ②学習において、対話的な学習活動を積極的に取り入れていく。	3	3	①多様な活用を模索しているところである。今後も効果的な活用について研究を進めていく必要がある。【再掲】 ②学習内容に応じて、対話的な学級活動を積極的に取り入れてきた。
III 教育を支える体制や環境の整備・充実					
1	教職員の資質向上と働き方改革の推進に努める。 ①教職員の資質向上と働き方改革を推進する校時程の運用 ②学校における業務の見直し	①昨年度見直した校時程を実践し、放課後における教材研究の時間を確保する。 ②質の高い教育を提供するために、学校における業務の見直しを行う。	3	3	①本年度より運用した新校時程により、放課後における教材研究の時間を確保することができた。 ②業務内容の見直しにより、廃止したり、簡略化したりすることで授業準備に充てる時間を確保していくことができた。働き方改革に対する職員の意識が高まってきた。
2	安全、安心な教育環境の整備・充実に努める。 ①緊急時の避難体制の整備 ②交通安全指導の徹底 ③校内の安全整備	①各種避難訓練の充実を図るとともに、保護者への児童引き渡しの訓練を実施する。 ②交通教室や自転車運転免許制度をもとに、交通ルール遵守の徹底を図る。 ③計画的な安全点検をもとに、危険箇所の把握と修繕に努める。	3	3	①保護者への引き渡し訓練、地震、火災、不審者等を想定した避難訓練を計画通りに実施できた。 ②交通教室や常時指導を通して、学年の発達段階に応じた交通安全指導を徹底してきた。今後も徹底を図っていく。 ③安全点検を計画的に行い、危険箇所の把握とできるだけ早い修繕を行ってきた。
IV 文化やスポーツに親しむ社会づくりの推進					
1	学校体育の推進に努める。 ①体育学習の充実 ②運動の習慣化 ③望ましい生活習慣の定着化	①体力向上プランをもとに、運動量を確保した体育科の授業の充実を図る。 ②毎朝、さわやか体操に取り組みとともに、昼休みは外遊びを奨励する。 ③学校保健委員会での取組を生かし、親子の健康意識を高める。	3	3	①各学年に応じて、体育の時間における運動量の確保に努めてきた。 ②さわやか体操を計画的に実施したり、感染予防、熱中症対策を行いながら外遊びを奨励したりしてきた。 ③学校保健委員会はコロナ対応のため中止したが、望ましい生活習慣の定着化については、保健便り等を通して、家庭と協力しながら進めることができた。